

令和7年度 小・中学校における環境教育の取組み

総合的な学習の時間、社会科、図画工作科（第4学年）

テーマ【 環境問題についてわたしたちができること 】

摂津市三宅柳田小学校

《学習のねらい》

- ・身の回りにある環境問題に気付き、その原因や私たちのくらしとの関わりを理解する。
- ・自分たちでできる環境保全の行動について考え、日常生活の中で実践しようとする態度を育てる。

《学習の流れ》

実施時期 5月 ～ 7月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 総合的な 学習の 時間	「 環境調べ学習 」 ・担当した環境問題について、本やインターネットを使って、調べる。調べたことを、ロイロノートや模造紙に各班でまとめる。	■身近な場所から環境問題を捉えられるよう、学校周辺・家庭・地域の事例を例示しながら、問題意識をもたせる。
2 総合的な 学習の 時間	「 環境学習発表会 」 ・今まで調べてきた環境問題や環境問題に対して自分たちができることについて、発表をする。	■学びを自分事としてとらえ、自分にできる行動を考えるよう促す。
3 社会 科	「 健康なくらしとまちづくり（水はどこから） 」 ・水はどこからくるのかについて学習する。水がどう処理されるのか、働く人々の取組みや工夫を知り、「水はどこからリーフレット」にまとめる。	■「水が使えるありがたさ」を実感できるよう、働く人々の努力や工夫に焦点を当てる。
4 社会 科	「 浄水場見学 」 ・摂津市上下水道部太中浄水場を見学し、浄水場で働く人々へのききとりを行う。学んできたことで、疑問に思っていることを中心に質問する。	■浄水場で働く人々の思いや願いについて知り、自分たちにできないことがないかを考える。次時のごみの学びをみずえて、課題をもつ。
5 社会 科	「 健康なくらしとまちづくり（ごみはどこへ） 」 ・ごみの行方について学習する。ごみの収集や処理の仕方・ごみをへらすための取り組み、働く人たちの工夫を順に追って、「ごみはどこへすごろく」をつくる。	■自分たちの出したごみの処理について、ごみ処理の仕組みや働く人の工夫に気付き、自分たちがごみを減らすためにできる行動を考えられるようにする。
6 図工 科	「 廃材からうまれるオリジナルモンスター 」 ・廃材を使って、生き物を表現する。捨てるものでも、いろいろなものに生まれ変わることができることを学ぶ。	■廃材の特徴を生かして、表現する活動を通し、物を大切に再利用する意識を高める。
7 図工 科	「 環境絵画 」 ・今まで学んできたことや見学したことを振り返り、環境問題について自分の思いや訴えたいことをポスターにて表す。	■働く人々の努力など学習の振り返りから、「伝えたい思い」を明確にする。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

- ・摂津市上下水道部太中浄水場
- ・環境業務課摂津市まいどおおきに出前講座
- ・第41回摂津市ごみ減量化・環境絵画展

《成果》

- ・生活と環境問題のつながりを理解し、自分たちの行動が地域の環境を守ることにつながるという意識が高まった。
- ・見学学習や調べ学習を通して、働く人の努力や工夫、ごみ処理・浄水のしくみに気付き、環境を支える仕組みを理解した。
- ・発表会や環境ポスターなどの表現活動により、「自分にできること」を主体的に考え、実際の行動につなげようとする姿が見られた。